

2020年1月14日掲載 カーゴニュース

厳しい環境でも業容拡大に前進

第一貨物社長 武藤幸規

これからの時代はIoTやAIなど数々のテクノロジーが社会および物流業界で活用される時代となるのは必須だ。また、そうした社会では「ミレニアル世代」が中枢を担っていくと思われる。経済は2018年後半まではそれなりの成長を続けてきたが、その後は様相が変わり、反転し始めた。本年は、おそらく東京オリンピック・パラリンピックが終わる下期からは相当の経済悪化が危惧される。少子高齢化によりドライバー不足など人手不足は一段と厳しくなるだろう。経営環境は依然として厳しいと予



測されるが、将来を見据え、しっかりとした経営基盤を確立し、どのような環境になろうとも業容拡大に前進していく。